

## ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップについて

TP 更新ワークショップにお申し込みいただきありがとうございます。

下記に概要とワークショップまでに行っていたいただきたい作業の説明がございますので、お読み下さい。

大学評価・学位授与機構  
評価研究部 栗田佳代子

### 【目的】

- ティーチング・ポートフォリオを更新する
- メンターの役割について理解を深め、メンタリングについて学ぶ
- 他機関の先生との交流をはかり、ポートフォリオに関わる課題について共有する

【日時】 2012年8月22日 9:00-17:30

【場所】 徳島大学共通教育4号館4-303

### 【参加要件】

- ワークショップに全日参加できること TP 作成後1年を経過していること。
- ワークショップまでに TP を読み返して更新箇所を確かめ、更新に必要なエビデンスを全てそろえておけること
- 事前課題を提出した上で参加できること

### 【事前課題】

本お知らせ3ページ目以降の「ティーチング・ポートフォリオ更新について」を読み、ご自身の TP を読み返してティーチング・ポートフォリオ更新チェックシート (TPRWS\_checksheet\_3.xlsx) を完成させて、[spod@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:spod@stu.ehime-u.ac.jp) へ添付ファイルとしてお送りください。件名は「更新 TPWS 事前課題」をお願いします。また、ファイル名には氏名を追加してください。(例: TPRWS\_checksheet\_3\_kurita.xlsx)。〆切は8/17午前9時とさせていただきます。

また、できるところまでよいので更新作業をはじめてください。

### 【当日の持ち物】

- ノートパソコン
- USB メモリ (プリンタ使用時に使います。)
- 最新版のティーチング・ポートフォリオ
- 追加するエビデンスの資料
- ティーチング・ポートフォリオ更新チェックシート 2部

### 【備考】

- プリンタ/印刷用紙はこちらで用意します。ノート型コンピュータを用意して接続しておきますので USB を使用してお使い下さい。
- カジュアルな服装でお越し下さい。

皆様にお目にかかることを楽しみにしております。ご質問などは栗田(kurita@niad.ac.jp)までご遠慮なくお知らせ下さい。

はじめてティーチング・ポートフォリオを更新する方へ

#### 1. ポートフォリオの作成後はどうでしたか？

ティーチング・ポートフォリオ作成から少なくとも1年ほどの時間が経過していますね。ポートフォリオを作成して何が変わりましたか？ご自身の変化あるいは周囲の変化について少し考え、書き出してみてください。また、一旦は起こった変化がまたもとに戻ってしまったことはないか、についても考えてみてください。メモ書き、箇条書き程度で結構です。（これは事前課題ではありませんが、任意でお持ちいただくとありがたいです。）

#### 2. 更新の意義

作成ワークショップで仕上がるティーチング・ポートフォリオは「第三版」と呼ばれています。「完成版」と言わないのは、今後も更新を続けてゆくべきものであるためです。

更新をすることの意義は次のようにいくつか考えられます。

- 短期目標を設定→実行→確認→再設定という改善のサイクルをつくることのできる
- 自分の持つ理念を確認し、方法、成果、目標に至るまでの一貫性を意識することで教育へのモチベーションを保つことのできる
- 教育に関する業績を包括的に管理することのできる

ティーチング・ポートフォリオは「振り返るためのツール」であると同時に、「未来を展望するツール」でもあります。また、教育についての業績を必要十分な量でまとめ、伝えることのできる方法でもあります。

ポートフォリオを一回作成しただけでその後活用されないのは、作成時の労力を考えたらとてももったいないことです。更新には作成時ほどの手間もかかりません。1年に一度あるいは数年に一度の間隔で更新をおすすめします。

#### 3. 本ワークショップの意義

更新の意義は十分理解できていても、実際に更新は一人ではなかなか実現できません。更新自体は大変な作業ではありませんが、確固たる意思がないと更新のために時間を割くことは難しいでしょう。一般的にポートフォリオの更新には必切もなく、業績にカウントされるわけでもないので、更新へのモチベーションは低く、優先順位が下がってしまうのです。間接的には学生や所属機関のためになることですが、直接的には自分のための作業ですからどうしても後回しになってしまうのです。

本ワークショップは、「更新したいけども、一人では更新しない／できない」人のために企画されています。更新は、このための時間をきちんとつくることで実現できます。さらに本ワークショップは単に更新だけでなくメンターとしてのスキルを磨く場としても機能させたいと考えています。また、本ワークショップが作成ワークショップと同様に、各機関における更新ワークショップの雛形となることを目指して設計しています。

#### 4. ポートフォリオの更新

では、具体的にはポートフォリオの更新はどのように進めればよいのでしょうか。ここでは次のような手続きを紹介します。これが現在考えられているよりもっとスムーズに進む方法ではないかと考えています。

- ① **作成目的について確認する。** 前回の TP の作成目的と変更がないでしょうか。想定する読み手が変わっていないでしょうか。変更がある場合には、ポートフォリオの構成がその作

成目的に適ったものであるかどうかを意識しながら読んで下さい。

② **ティーチング・ポートフォリオを読み返す。**

まず、後方にある「目標」の部分を読んで下さい。特に短気目標の部分で達成された部分があれば、それはエビデンスを付して、ふさわしい項目（教育方法や授業評価、学習の成果、受賞など）に移動し記述します。

次に全体を変更箇所がないか、という点に注意しながら最初から読み進めます。変更箇所は付箋などで目印を付してください。

**【教育の責任】**

担当科目の増減や、同一科目でも教える内容に変化があったかに注意します。シラバスは最新のものに変更します。

授業科目以外の活動の変化についても確認します。

**【教育の理念】**

理念は基本的に変わらない部分ですが、さらによい表現ができそうであれば変更しましょう。また、現在の自分の考えとずれが生じていないかどうか、あらためて確認します。

**【教育の方法】**

あらたに実施した方法を理念との一貫性にたらしながら確認しましょう。

**【教育の成果】**

授業評価は最新のものを追加します。また、学生からのコメントなど、新たに得られている資料がどこにどのように入るのかについて確認します。

**【その他】**

受賞や改善の活動等あらたに加わった事項があるかについて確認します。

**【教育の目標】**

短期目標の達成確認をし、達成事項をしかるべき場所に移動したあと、あらたに目標の設定を行います。これからの短期目標をどのように定めるかを考えます。

**\*ティーチング・ポートフォリオ更新チェックシートの(1), (2)について回答/記入をします。(2)の変更事項は箇条書きなどで簡潔に示し、該当箇所のポストイットと対応づけておきましょう。**

③ **エビデンスを用意する**

本文部分の更新に必要なエビデンスを用意します。

**\*ティーチング・ポートフォリオ更新チェックシートの(3)に記入をしておきます。**

④ **記述部分の変更箇所の修正を行う**

実際に付箋をつけた部分についての修正を行ってゆきます。この部分はワークショップで行いますが、始めてくださって結構です。

⑤ **完成**

TP更WS (20120822@SPOD)

9:00	(A) オープニング 趣旨と進行説明・TPIについてのおさらい (全体)
10:00	
11:00	(B) メンタリングセッション(1) (二人一組) (1)互いのTPを読む (2)相互メンタリング
12:00	
13:00	(C) ランチ&シェアタイム+(全体)
14:00	
15:00	(D) 更新タイム
16:00	
17:00	(E) メンタリングセッション(2)
18:00	
19:00	
20:00	
21:00	